

平成28年度

学校関係者評価報告書

岡山自動車大学校

平成29年 9月 29日

岡山自動車大学校
校長 原田公德 殿

学校関係者評価委員会
委員長 山本 茂

学校関係者評価報告書

平成28年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- 山本 茂 (学校法人第一原田学園 評議員)
川上 薫 (一般社団法人 岡山県自動車整備振興会 事業部 課長)
松岡 正志 (岡山ダイハツ販売株式会社 総合営業推進部 副部長)
小椋 竜太 (岡山ダイハツ販売株式会社 吉備路店 主任)

2 学校関係者評価委員会に開催状況

第1回委員会 平成29年9月28日(会場 岡山自動車大学校 会議室)

3 平成28年度学校関係者評価報告

学校関係者評価委員からの主な意見

(1)教育理念・目的・人材育成像

校訓、教育目標、スローガン、育成人材像の周知徹底・実践について取り組み状況は十分か。
ホームルームや行事を利用して校訓を唱和するなど積極的に取り組む必要がある。

(2)学校運営

組織運営については問題ないと思われる。
職員間での情報伝達・意志疎通についてITの導入なども考えてはどうか。
職員室が複数に分かれていることで、教員間の連絡に問題はないか。

(3)教育活動

学生による授業評価の実施については、特別な評価表などではなくとも、授業に対する感想を試験のなかで記入してもらうなど、すぐにできることから工夫してみたらどうか。
教員研修は適切か。今後はどのような計画があるのか。
教員の研究授業ができていない点は今後取り組んでもらいたい。
教員のユニフォームについて統一した基準はあるか。現在、企業では外部コンサルタントを入れ、身だしなみマニュアルなども作られている。

(4)教育成果

HYPERQUテストは効果的か。

(5)学生支援

学生の健康管理体制は十分か。

保護者との連携として保護者会の設立など検討してはどうか。保護者から有意義な意見が聞ける事も多いのでは。

(6)教育環境

女子学生に対する設備への取り組みは。女性の教員採用など考えていないのか。

業界にとって女性の活用は大変重要であり、女子学生の環境整備は必要不可欠。

(7)学生の受入れ募集

ポスターの作成はしているのか。

(8)財務

学校法人で監査ができていますので間違いはないと思われる。

(9)法令等の遵守

個人情報漏洩防止への取組は徹底していく必要がある。

(10)社会貢献・地域貢献

総括

全体としては特に問題はなく、適切に評価されている。

自己評価の項目が見直しされており、より自動車整備士養成校に特化したものになっている点は評価できる。

今後も、具体的な評価ができるよう評価項目の検討は継続してもらいたい。

評価するだけでは意味がない。出来るもの、出来ないものがあるが、きちんと見極め
今後につなげてもらいたい。

施設見学によりテントの張り替え、プロジェクターの設置、実習場の塗装など新しく整備されている事が分かった。

学校関係者評価委員会からの意見をうけて学校の今後の取組み・改善

(1)教育理念・目的・人材育成像

校訓、教育目標、スローガン、育成人材像の周知徹底・実践について取組みとして校内への掲示などで啓発している。学生がすぐに答えられるところまで努力していきたい。

(2)学校運営

教員間の連絡、連携についての指摘であるが、毎朝の職員会議において全教職員が顔を合わせて業務確認をしており、また問題があればその都度、集まって話し合うという姿勢で取り組んでいる。学校で扱う内容は個人情報に関わる事柄も多く、ITで共有するより、口頭での確認が理想的である。以上の条件を踏まえた上で、効果的な方法があれば検討したい。また、授業内での様子などの申し送りがスムーズにできる方法があれば工夫していきたい。本校のIT化は遅れていると認識している。努力したい。

(3)教育活動

教員研修についてはJAMCA主催の研修には引き続き積極的に参加していきたい。企業主催の技術研修が少なく、なかなか機会がもてない。ディーラーでの教員研修なども受け入れをお願いして検討していきたい。
研究授業についても計画したい。
教員のユニフォームについては、学生からの目を常に意識して取り組む必要がある。

(4)学修成果

HYPERQUテストは今後も継続していきたい。

(5)学生支援

学生の健康管理については、専門家がない。保健室がない。など十分とは言えない。保護者会設立の要望は、保護者からも寄せられるが、遠方から通学している学生が多いこともあり、組織として活動するには難しい。保護者との連携は、三者懇談、参観日、学校開放デーを利用して積極的に進めていく。また、その情報は教職員間で共有していくよう努力する。

(6)教育環境

女子トイレの整備など改善点は考えられる。女性教員については、他校の状況なども踏まえ、慎重に検討したい。

(7)学生の受入れ募集

ポスターは4年生の卒業制作の車輛を掲載して、毎年制作している。
学校の情報については、HPで詳しく開示している。国家試験合格率、就職先企業、学費など年度ごとに更新し、細かく出している。このことは、高校の先生から評価されており、今後も継続したい。

(8)財務

適切な運営に努める。HPで情報公開している。

(9)法令等の遵守

個人情報漏洩防止への取り組みは重要である。教員への意識付けを徹底していく。
今後はLGBTへの配慮など繊細な部分も出てくるのが考えられるので、準備していきたい。

(10)社会貢献・地域貢献

総括

学校関係者委員からの評価は良好であり、本校の自己評価は適切であると考えられる。

今回の委員会では、教員間の情報共有の重要性、学生による評価の導入、教員研修への取り組み状況、学生の健康管理体制への指摘、女子学生の環境整備の重要性、個人情報取扱の徹底など客観的な視点から貴重なご意見をいただき、さらなる改善へむけて努力していきたい。

本校の教育内容に沿った自己評価の項目を取り入れていくことで、より具体的な評価になるよう常に見直していきたい。